

平成20年

1月

No. 531



広報

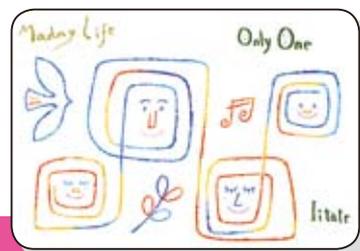
いいたて

<http://www.vill.iitate.fukushima.jp>



平成20年 今年もよろしくね

(やまゆり保育所の子どもたち)



大いなる田舎 まていうイフ・いいたて

新春のごあいさつ



飯館村長
菅野 典雄

明けましておめでとうございます。
全家庭が、ご家族お揃いで健やかな新年を迎えていただきたいものと、心より念じているところです。

昨年は、村が進めている第5次総合振興計画の3年目の年で、この計画の理念である「までいライフ」が全国に知っていたいただいた飛躍の年ではなかったのかと思っています。「までい」をテーマにした「日本再発見塾」が開催され、「人生の楽園」というテレビ番組で「までい」の考え方が全国放送され、また日本経済新聞のコラム欄に「までいを進める村」として紹介され、数人から電話などをもらい、「までい」が時代を先取りした素晴らしい考え方として大変注目をされたことでした。

一方、それらの事業を進めるに当たっては、必ずといってよい程、村民の皆さんの「協働」「応援」があつてのこととであり、改めて皆さんの一年間の活躍に心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。

これからも飯館村であり続けるためには、身の丈を考え、「ないものねだり」から「あるもの探し」の考えのもと、村の中で金やモノや心が循環する仕組みづくりが大切

新春のごあいさつ



飯館村議会議長
北原 昇

新年明けましておめでとうございます。
村民の皆様には、ご家族お揃いにて輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

これは、皆様も同じであろうと思います。新年というのは気持ちも新しくなり、おのずと夢や希望が沸いてきます。今年も、村民の皆様にとりまして希望に満ちた最良の年でありますよう念ずるものであります。

さて、昨年の飯館村は初夏の低温及び集中豪雨があったものの、幸い大きな被害がなく、後半は好天に恵まれた年でありました。ご同慶に堪えないところであります。

また、国家施策である三位一体の改革による「うねり」が地方へと流れており、我が村のように自主財源の乏しい村にとっては非常に厳しい訳であります。村の半世紀の歩みを振り返るとともに、これからの村勢発展に一層の創意と工夫を凝らして努力をしていかなければならないと思っております。

我が村も自立の道を選択し、「新たな出発プラン」のもと、村民参加と協働の村づくりが着々と定着してきて

です。
一昨年からの「3人以上の子育て支援策」として「までいクーポン券」の交付により、「お金の循環」の仕組みをつくりました。

「モノの循環」ということでは、地元の米や野菜での給食を進めています。昨年は飯館産米で米粉パンの製造を開始し、4月からは給食へと考えています。

また、中学生クラブ活動用バスの購入に当たっては、村民の皆さんに900万円という大金の「までい村民債」を買っていただき、皆で次世代に手を差しのべていこうという「心の循環システム」も村内に育てていただきました。

今年も、平成になって20年目の年となります。飯館村が飯館村であり続けるために、さらに産業振興、子育て支援を中心にした少子化対策、そして村の将来に向けての人づくりを力を入れ、さらに躍進する年にしたいものとの熱い思いをもっているところです。

特に、「もう少し、村民の生活が良くなるようにするには、どうしたら？」との考えが頭から離れません。農業振興では生産支援のみではなく、付加価値づくりや販売促進などにも力を入れたいと考えています。商工業の活性化に向け、あえて事業を起こしていくということも大切ではないかと思えます。企業支援や「いいたてホーム」の増床、あるいは住宅建設などで、より村民の職場づくりや定住対策、交流人口増加への対応も急を要する課題です。いずれの事業も村民の声を聞かせていただきながら、議会とも十分なる協議をして進め、村の活性化に最大の努力を傾注する覚悟です。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年一年、皆さんのご家庭にさらなる幸せが訪れ、健やかに過ごされますよう心よりお祈り致します。平成20年の新年に当たつてのごあいさつとします。

おります。これもひとえに村民の皆様方のご理解とご協力の賜物であり、深く感謝を申し上げます。

しかしながら、財政の厳しさが増す中で、住民と行政が役割を再認識し、それぞれ担うべきことを推進していかなければならないと思っております。自然環境をはじめ厳しい面もありますが、村民の皆様が住んで良かったと本音で言える、豊かで潤いのある村に一歩でも近づける年にと念じているところです。

自立計画が具体化するにつれ、今後は村民の負担及び我慢が避けては通れないと思えます。これらを克服するには、村民の生産基盤の整備向上、つまり商工業への支援や雇用の場の確保、農業においては自主自立の村ならではの支援策の存続拡大が最も重要であると考えます。

また、高齢者が元気で暮らせる福祉施策及び少子化社会への対策、生涯学習の充実を図らなければなりません。さらには、主要道路と生活道の整備促進を図るとともに、行財政改革の断行等、健全な村づくりに努めてまいりたいと考えております。

村議会といたしましても、村民の皆様との連携を一層密にし、村勢進展のためさらに努力をしてまいれる所存です。
以上のことを基本として、自立の村づくりの中で村民の生活と幸せを守るため、今年も活発な議会活動を進めてまいります。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。